The Tokyo Tanuki Times

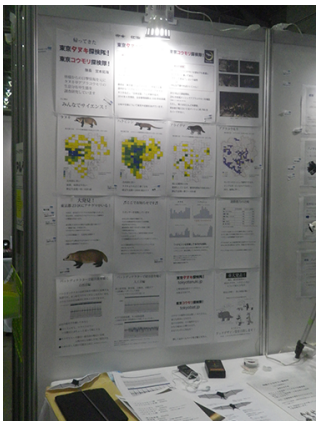
東京タヌキタイムズ

2015年5月号　通巻77号　毎月1日発行　購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2015
責任編集：宮本拓海　発行：東京タヌキ探検隊！ tokyotanuki.jp

ニコニコ学会βにまた行ってきました

カオスな会場随一の異色展示？



会期中はほぼずっとポスター前にはりついていたので、まわりの写真を撮る余裕なんてあまりありませんでした。ポスターの内容は調査研究のダイジェスト版です(写真左)。写真右はホール9〜11の風景です(開場前)。あまりに広すぎて全体は写っていません。

4月25〜26日にニコニコ超会議2015(幕張メッセ)内で開催された第8回ニコニコ学会βに参加してきました。第5回に続き2回目の参加です。今回はポスターセッションに出展しました。

野獣系、がんばる

ニコニコ学会βの詳細はそのホームページをご覧ください。「ユーザー参加型研究」「誰でも参加できる」「さまざまなジャンルを許容している」といった特徴を持つかなり異色の「学会」です。見た目は不真面目そうですが、多様な発見や問題提起をはらんだエキサイティングな場です。専門家向けの学会と違い、一般の人でも参加しやすいでしょう。

ニコニコ超会議の方は何と言うか超カオスなイベントで、大相撲やってたり自衛隊が来ていたりコスプレしてたり踊っていたり痛車が勢ぞろいしていたり、よくわからないものでした(笑)。全般的にはオタクな感じでしょうか。私はスタッフ扱いですいすい出入りできたのですが、来場者数は2日間で15万人だったそうでとてつもない大混雑なのでした。行き帰りの電車も確かに超満員でした(土日なのに！)。

そんな異色の会場の中でも東京タヌキ探検隊！&東京コウモリ探検隊！は超異色の存在だったはずです。おそらく唯一の「リアル野獣系」のはず…です。メインストリートからちょっと引っ込んだ場所だったので気がつかない人が大多数でしたが、がんばってアピールしてきたつもりです。

こんなふざけた場所ではなく、ちゃんとした学会で発表すべきでは？との疑問を持たれるかもしれませんが、私は動物学の専門教育を受けていないアマチュアに過ぎません。各種の学会とはまったく縁がなく、専門家の知り合いもいないアウトサイダーであるため、学会や専門誌に発表する方法がまったくわからないのです。ですが、21世紀はインターネットという発表の場がありますのでそれほど不利だと思ったことはありません。それでもニコニコ学会βのようなリアルな発表の場があるのはとてもありがたいことです。

ネット時代でもリアルな場を

ちなみにニコニコ学会βは5年間限定という期限があります。次回12月が最終回となる予定とのこと。私のようなアウトサイダーを受け入れてくれる場がなくなるのは残念なことです。やはりネット外でのアピールも必要なのです。

もし他の発表の場やイベントなどをご存知の方がいればぜひ教えてほしいです。また、イベントの運営側の立場ならばぜひぜひ私を呼んでください。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。
http://tokyotanuki.jp